

【 説明文教材の系統表 】高学年

珠洲市立飯田小学校

学年	5 年			6 年			
学期	1 学期	2 学期	3 学期	1 学期	2 学期	3 学期	
単元	筆者の考えをとらえ、自分の考えを発表しよう	説明のしかたについて考えよう	自分の考えを明確にしながら読もう	文章と対話しながら読み、自分の考えをもとう	ものの見方を広げよう	言葉について考えよう	
教材名	「見立てる/生き物は円柱形」	「天気を予想する」	「ゆるやかにつながるインターネット」	「生き物はつながりの中に」	「鳥獣戯画を読む」	「言葉は動く」	
ねらい	要旨をとらえて自分の考えを明確にしながら読み、筆者の考え方や文章の書き方についての感想を発表し合って、自分の考えを広げたり深めたりすることができます。	前半部分と後半部分の書かれ方の違いに着目し、筆者が伝えたいことを考えながら読むことができる。	筆者の考えを理解し、それに対する自分の考えをもち、発表し合って広げたり深めたりすることができます。	筆者の意図を考えながら、筆者がこの文章を通して読者に考えてもらいたいと思っていることをまとめる。	筆者の表現のしかたに着目したり、図版と文章を対応させたりしながら読む。	筆者が述べていることについて、自分の体験から例を補って読む。	
単元を貫く言語活動	筆者の考えをとらえ、自分の考えを発表する	説得力のある説明のしかたのアイテムを増やす	意見を述べた文章を読み、自分の課題解決に生かす	意見文をかいて、交流会をしよう	表現の特徴が生きる「生き生き音読会」をしよう	言葉研究レポートを書こう	
5つの言語意識	相手	学級のみんなに	自分に	学級のみんなと	学級のみんなに(全校のみんなに)	学級のみんなに(全校のみんなに)	
	目的	筆者の考えについて、感想をもち、自分の考えを伝えるために	説得力のある説明のしかたができるようにするために	読み取ったことをもとに、インターネットという道具をどのように使うかという自分の考えを広げるため	要旨をとらえ、自分の意見を話すために	自分の読み取った筆者の意図が伝わるように	
	場面	話し合いで	アイテムシートに	話し合いで	筆者の考えに対して、手引きの観点から	音読発表会で	
	方法	筆者の考えについて、納得できるか、できないかを理由と根拠をあげて説明することで	筆者の論の進め方、図表、写真の活用の工夫を取り出して	自分の例に置きかえて読むことで	自分の考えを300文字程度の用紙にまとめて	グループで音読練習してから全体の音読会で	
	評価	納得できる(できない)ことを理由と根拠をあげて説明しているか	論の進め方、資料の効果をまとめているか	友だちの感じ方、考え方との共通点や相違点を確認しているか	事実と意見に体験も取り入れて書いているか	新しく知ったこと、見方が広がったと思うことについて絵や巻物、筆者の思い、筆者の文章の書き方から1つを中心に書いていているか	
段落	見立てる 生き物は円柱形 形式段落6 意味段落3	形式段落9 意味段落4	形式段落10 意味段落5	形式段落7 全体を3つに分ける 意味段落3	形式段落9 全体を3つに分ける 意味段落6	形式段落8 全体を4つに分ける 意味段落4	
文章構成	見立てる 生き物は円柱形						
	思考	○文章構成(始まり・中・終わり) ○要旨をとらえる ○説明の仕方(例の取り上げ方)	○文章構成の工夫 「問い合わせ」「新たな問い合わせ」の繰り返し ○要旨をとらえる ○説明の仕方(例の取り上げ方)	○文章構成(初め・中・終わり) ○身近な例に置きかえながら読む ○説得力を持たせる書き方の工夫(対比)	○文章構成(はじめ・中・終わり) ○段落の要点をまとめる ○要旨は、筆者の一番伝えたいことで文章全体の内容の中心である	○文章構成(事実と感想・意見の区別) ○段落と文章を対照しながら筆者の見方をとらえる ○筆者の見方を読者に伝えるための表現や構成の工夫をとらえる	
学ばせたいこと	表現の仕方	○共感・納得 「そのとおりだ」 「そうかもしれない」 ○疑問 「分かりにくいな」 ○要旨(150字以内)	○要旨(300字以内) ○論の進め方や説明のしかた ○資料を用いた意図	○身近な例に置きかえる 「自分だったら」「自分の場合は」 ○関係性(マップ)	○根拠や理由 「～のところから、ぼくは、～と考えますそれは、～だからです」 ○自分の体験に引きよせて考える 「わたしなら、～こう考える(～こうする)」	○根拠や理由、自分の考え 「絵や巻物の～を見ると～と考えられますそれは、□□□だからです」	
	用語	文章構成・要旨・共感・納得・疑問・例 例外・キーワード(繰り返し)	表現の工夫(構成)・中心文・問い合わせ 答え 数値の効果・資料	書き方の工夫・共感・納得・疑問・具体例	要旨・対話・理由や根拠・共感する キーワード	事実と感想・説明と解説	
	関連教材	「ウナギのなぞを追って」4下 「天気を予想する」5年	「見立てる/生き物は円柱形」5年 「ゆるやかにつながるインターネット」5年	「天気を予想する」5年 「感情/生き物はつながりの中に」6年	「鳥獣戯画」6年 「この絵、わたしはこう見る」6年 「言葉は動く」6年	「この絵、わたしはこう見る」6年 「言葉は動く」6年	
意識させるキーワード	文章構成・説明の方法・例・筆者のものの見方	構成・問い合わせ・表現・事実と意見・資料(数字・文末)・筆者の意図	身近な例に置きかえる・対比	要旨・結論	事実・意見・感想	段落の小見出し・同じ意味でも違う言葉・複合語・対義語	
筋道を立てて説明する	筆者の考えについて「納得できる(できない)」かどうかを理由と根拠をはつきりさせて説明する。	文章以外の資料についてどのような効果があるかを根拠をあげて説明する。	読み取ったことをもとに、インターネットという道具をどのように使うかという自分の考えを説明する。	筆者の意図を考えながら、筆者がこの文章を通して読者に考えてもらいたいことを理由と根拠を明確にして説明する。	本文以外の資料として、新聞、読書経験、身の回りの出来事などから、自分にとっての「平和」について具体例や引用を入れて自分の意見を説明する。	筆者が述べていることを自分の体験から例を補つて、自分の考えの根拠を明確にして説明する。	
単元まるごと活用	学習材「地図が見せる世界」 文章の要旨をまとめ、それに対する自分の考えをもち、交流する。	学習材「日本の農業」 資料から必要な情報を取り出し、それを文章と照らし合わせて読み、自分の考えを広げる。					
その他	参考図書として、「サンゴしょうの海」「絵とき ゾウの時間」と「ネズミの時間」を紹介する	資料の効果について読み取るために、資料なしの教材文を準備する		並行読みとして、「さよならトンボ」「地球はえらい」「ピリカ、おかあさんへの旅」「おじちゃんは水のにおいがした」など	参考図書として、「かえるのごほうび」「アートジャバネスク絵巻と物語 中世のドラマの舞台」等	参考読書として、「言葉の意味(言葉)シリーズ34」「心に遺したい季節の言葉」「心にしまっておきたい日本語」等	